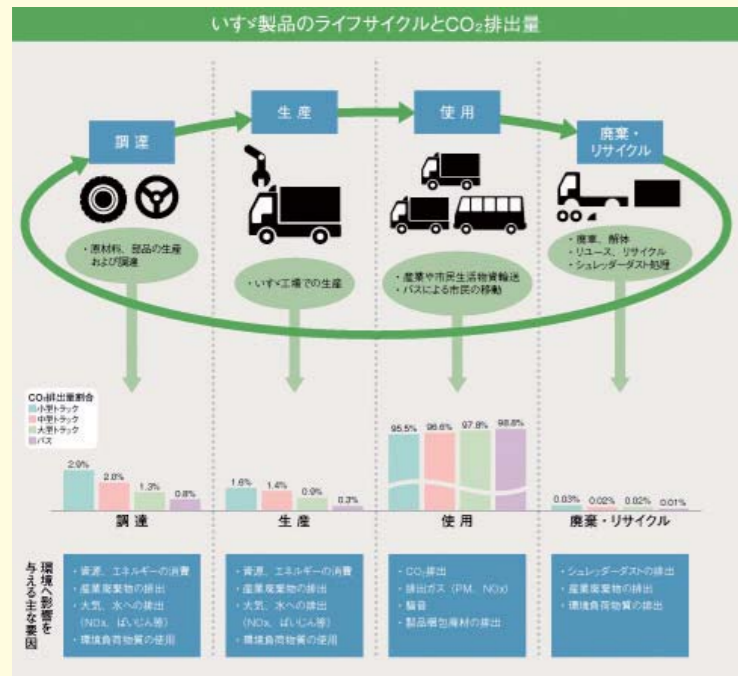


ISUZU GREEN ACTION

人と地球の未来のために

私たちは「地球環境憲章」のもと、お客様と社会から選ばれるいすゞグループになることを目指します。

商品開発環境委員会



▲製品の一生の環境負荷をライフサイクルアセスメント手法により評価し、より環境への影響が少ない製品やサービスの実現を目指しています。



▲多彩なELFのラインナップにはCNG(圧縮天然ガス)車に続きHYBRID車も加わりました。



▲慶應義塾大学、神奈川県とともに電気バスの共同開発を行っています。(このスケッチはイメージです)



▲内装部品「センターコンソールボックス」の一部にリサイクル材を40%以上使用しています。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく



企業理念	「運ぶ」を支え、信頼されるパートナーとして、豊かな暮らし創りに貢献します
行動指針	<p>私たちは、信頼を全ての基本とし、自ら考え、行動し続けます</p> <p>商品 真のニーズを追究し魅力ある商品・サービスの創造</p> <p>自己 約束を守り、誠実で迅速な対応</p> <p>組織 世界の仲間とチームワークで達成</p>

地球環境憲章

基本方針



- ・豊かで持続可能な社会の実現
- ・事業活動全体の環境負荷低減
- ・社会活動への協調参加

2010年4月1日改定

活動指針

- 1. 持続可能な社会の実現**
経済と環境を両立させ、お客様に喜ばれる、環境に配慮した高付加価値の製品、サービスを提供する。
- 2. 環境技術開発の推進**
材料投入から廃棄にいたる製品のライフサイクルを通して、環境負荷低減の技術開発でリードする。
- 3. 法の順守、自主取り組みの実施**
環境関連法規の順守を徹底し、重要な環境項目には自主目標を策定して、環境保全に取り組む。
- 4. 環境マネジメントシステム構築、関連会社との連携**
事業にかかわる全てのグループ企業で環境マネジメントシステムを構築し、相互の協力によって環境活動の継続的レベルアップを図る。
- 5. 社会とのコミュニケーション、社会貢献の推進**
製品とサービスと人材を通じた地域や社会との良好なコミュニケーションによって、豊かな社会づくりに貢献する。
- 6. 教育・訓練、環境マインドの育成**
社員及びいすゞグループ一人ひとりの環境教育・訓練を通して、環境マインドのレベルアップを図る。

部門方針／部方針／日常業務

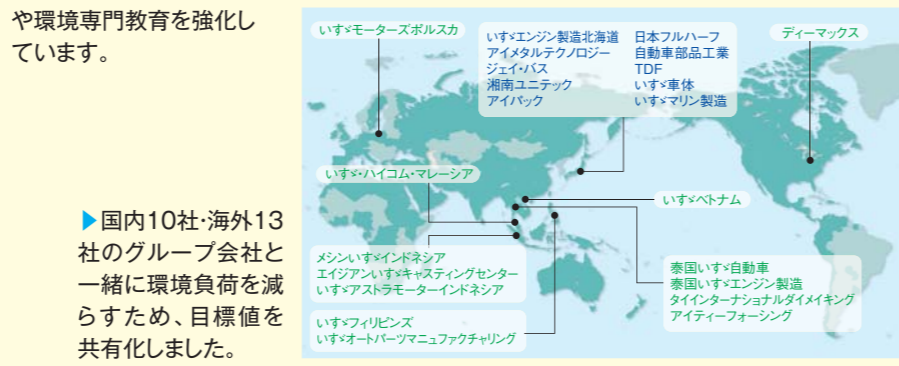
プラント環境委員会



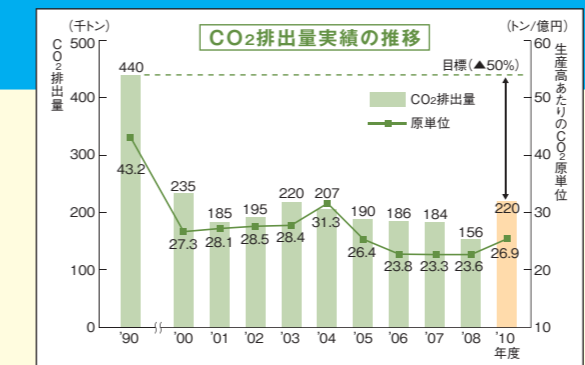
▲社内の環境一般教育や環境専門教育を強化しています。



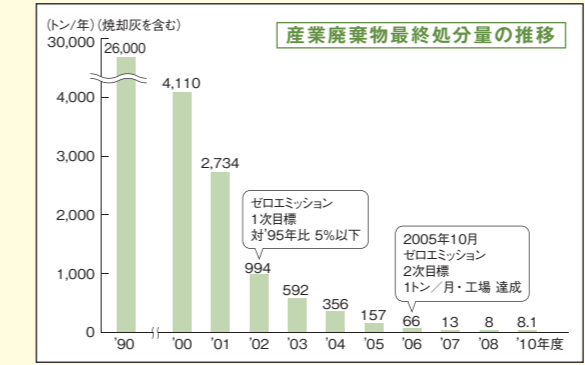
▲環境影響が大きい焼却炉の使用を停止し、社員自らが分別・回収することにより、廃棄物の削減とリサイクルの推進を図っています。(構内での運搬作業)



▲いすゞ栃木工場では、液化天然ガス(LNG)プラントを建設しエネルギーを転換することによりCO₂排出量を大幅に削減しました。



▲CO₂削減は2010年目標(1990年の50%削減)を達成し、今後は毎年生産高あたりの原単位1%以上低減を目指します。



▲ゼロエミッションは達成しており、今後はさらに廃棄物発生量を削減する活動を推進します。

総務委員会



▲富士山の森づくりプロジェクトに参加し、森の再生に貢献しています。



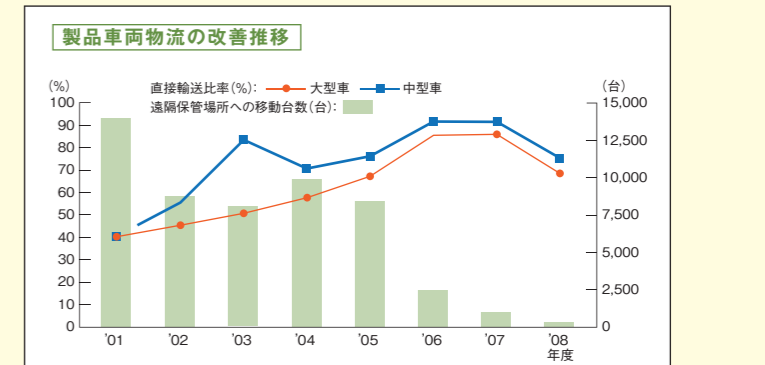
▲神奈川県化学物質セミナーを藤沢工場で開催し、いすゞの環境活動を地域のみならず報告しました。

営業・サービス環境委員会

▼お客様にトラックの進化と省燃費運転を体験していただき、経費削減&CO₂削減をサポートしています。



▲いすゞ独自の環境ガイドラインに沿って、販売会社の環境への取り組みが向上し、廃棄物置き場の整備も進んできています。



▲製品車両の物流においても確実に省エネを達成しています。